



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 高砂香料工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶村 聡
(コード番号 4914 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 平田 裕康
(TEL. 03-5744-0523)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 5 月 15 日に公表した 2026 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	230,000	12,500	13,000	11,700	120.10
今 回 修 正 予 想 (B)	225,000	8,500	10,000	10,500	107.72
増 減 額 (B－A)	△5,000	△4,000	△3,000	△1,200	—
増 減 率 (%)	△2.2	△32.0	△23.1	△10.3	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	229,207	15,341	15,311	13,325	683.89

(2) 修正の理由

売上高につきましては、地域・事業による変動があるものの、全体として予定を下回り進捗しております。日本では飲料向けフレーバーが伸長し、中国ではフレーバーやファブリックケア向けフレグランスが堅調に推移しましたが、米州及び欧州ではフレグランスの出荷が前回予想に対し減少しました。また米国子会社では、ファインケミカルの医薬品中間体ビジネスにおいて主要得意先との間で品質の管理体制に関する高度化対応を行ったことで製品出荷の時期が大幅に遅れ、当初計画を下回る見込みです。

営業利益につきましては、減収に伴い売上総利益が減少したことで予定を下回る見込みです。東南アジアでは製品構成や原材料の最適化により売上総利益が改善し増益となりましたが、日本ではファインケミカルで医薬品中間体のグループ会社向け輸出が減少したことを主因として当社の利益が減少しております。経常利益につきましては、営業利益の減少を主因として当初計画を下回りますが、為替相場の変動による外貨建債権の為替換算に伴い、為替差益を計上する見込みです。

親会社へ帰属する当期純利益は、2026 年 1 月 16 日付の「公開買付けへの応募及び特別利益の計上（見込）に関するお知らせ」で開示したとおり、特別利益に投資有価証券売却益 約 24 億円を計上する見込みです。そのため、前回予想に対し減少しておりますが、経常利益の見通しを上回る見込みです。

(参照)

2026 年 3 月期業績予想（地域別）

(単位：億円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	(ご参考) 前期実績
日本	売上高	738	750	+ 12	736
	営業利益	25	12	△ 13	45
米州	売上高	651	563	△ 88	665
	営業利益	30	8	△ 21	26
欧州	売上高	400	421	+ 21	393
	営業利益	17	9	△ 7	25
アジア	売上高	511	516	+ 5	498
	営業利益	53	55	+ 2	49
調整・その他	売上高	-	-	-	-
	営業利益	0	0	+ 0	9
合計	売上高	2,300	2,250	△ 50	2,292
	営業利益	125	85	△ 40	153

2026 年 3 月期業績予想（事業別）

(単位：億円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	(ご参考) 前期実績
フレーバー	売上高	1,233	1,242	+ 9	1,198
	営業利益	64	55	△ 10	52
フレグランス	売上高	759	760	+ 1	745
	営業利益	11	7	△ 3	20
アロマイングリ ディエーツ	売上高	150	151	+ 1	157
	営業利益	17	16	△ 1	26
ファインケミカル	売上高	144	83	△ 61	178
	営業利益	22	△ 5	△ 27	44
その他	売上高	14	14	△ 0	14
	営業利益	11	11	+ 0	12
合計	売上高	2,300	2,250	△ 50	2,292
	営業利益	125	85	△ 40	153